

介護保険事業計画作成のための地域分析・検討結果記入シート

保険者名 秦野市 R1.6.6作成

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	平均比較									全国平均等との比較	全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)	設定した仮説の確認・検証方法	問題を解決するための対応策(理想像でも可)
				自保険者			都道府県平均			全国平均						
				H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30				
認定率	B4-a	%	見える化・時系列(H28は年報、H29・H30は月報3月時点)	13.2	13.5	13.7	16.5	16.8	17.2	18.0	18.0	18.3	・認定率、調整済み認定率、調整済み軽度認定率は、全国平均、都道府県平均を下回っている。 ・調整済み重度認定率は全国平均、都道府県平均を上回っている。 ・認定率が低いため、相対的に低くなるはずだが、中重度認定率が高いため、施設サービスと居住サービスが平均程度となったと考える。 ・介護老人保健施設が多く整備されているため、通所リハビリの利用日数と給付月額も多くなっているのではないかと。 ・小規模多機能型は整備が進んでいないため、利用日数と給付月額が少なくなっているのではないかと。	A4高齢者の年齢構成75歳未満 本市 53.7% 神奈川県 49.0% A7-A 高齢独居世帯の割合 本市 9.4% 神奈川県 10.1% A8-A 高齢夫婦世帯の割合 本市10.6% 神奈川県9.4% B5-A調整済み認定率 本市要支援 2.6% 神奈川県要支援4.8%	現在は、総合事業を展開することにより、軽度認定率を低く抑えられているが、年齢とともに介護度が重度化する傾向にある。今後年齢を重ねることに高齢者が重度化すると予想されるので、若いうちから外出や運動をする習慣をつけ、重度化を抑制することが重要であると考えられる。またそれとともに、高齢独居世帯が増えるは、さらに重度化を加速する可能性があるため、家族や地域で支え合う環境づくりを進めていく。	
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)(H28は年報、H29・H30は月報3月時点)	15.4	15.3	16.1	17.4	17.3	18.1	17.5	17.2					
調整済み重度認定率(要介護3~5)	B6-a	%	見える化・時系列(他地域と比較)(H28は年報、H29・H30は月報3月時点)	6.6	6.4	6.8	6.2	6.1	6.4	6.0	5.9	6.3				
調整済み軽度認定率(要支援1~要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(他地域と比較)(H28は年報、H29・H30は月報3月時点)	8.8	8.9	9.3	11.2	11.2	11.7	11.5	11.3	11.7				
				H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30				
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.4	2.9	2.8	2.8	・通所介護の回数及び月額、全国平均、県平均を上回っている。 ・通所リハの回数及び月額、全国平均、県平均を上回っている。 ・短期入所生活介護の回数及び月額は、県平均を下回っている。	D2受給率(施設) 本市2.5% 神奈川県2.4% D3受給率(居住) 本市1.4% 神奈川県1.6% D4受給率(在宅) 本市7.2% 神奈川県8.7%	中重度認定者を支える「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「看護小規模多機能型居宅介護」等の充実を図る。	
受給率(居住サービス)	D3	%	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	1.3	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.2	1.2	1.3				
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	7.0	7.2	7.2	8.6	8.6	8.7	10.4	9.6	9.6				
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住サービス)	D15-a	円	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	133,507	129,693	134,455	134,519	130,595	135,586	121,622	124,305	129,290				
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	121,389	115,344	121,142	121,931	116,247	122,148	111,440	112,954	118,578	・通所介護の定員が多いため、利用日数と給付月額が多いのではないかと。 ・介護老人保健施設が多く整備されているため、通所リハビリの利用日数と給付月額も多くなっているのではないかと。 ・小規模多機能型は整備が進んでいないため、利用日数と給付月額が少なくなっているのではないかと。	D30要支援・要介護者1人あたり定員 通所介護 本市0.108人 神奈川県0.083人 老健 本市0.078人 神奈川県0.052人 通所リハビリ 本市0.059人 神奈川県0.022人 小規模多機能型 本市 宿泊0.001人 通い0.003人 神奈川県 宿泊0.004人 通い0.010人 市内短期入所生活介護事業所8事業所に対し、施設併設事業所は8事業所。		
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	56,517	57,372	60,760	60,384	62,336	64,521	55,030	64,957	67,508				
受給者1人あたり利用回数(訪問介護)	D31-a	回	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	19.6	19.5	20.6	20.0	20.4	21.0	18.3	22.7	23.7				
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	80,621	74,199	81,639	71,165	66,943	73,828	68,264	73,694	81,634				
受給者1人あたり利用回数(通所介護)	D31-e	日	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	10.1	9.1	10.2	8.8	8.3	9.4	8.1	9.4	10.7				
受給者1人あたり給付月額(通所リハ)	D17-g	円	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	68,266	63,630	66,938	67,741	59,327	64,016	63,844	57,166	60,568				
受給者1人あたり利用回数(通所リハ)	D31-f	日	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	6.8	6.3	7.0	6.6	5.6	6.3	6.5	5.6	6.2				
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	62,037	61,520	65,448	85,219	86,394	86,166	93,601	96,080	94,862				
受給者1人あたり利用回数(短期入所生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	7.6	7.3	7.8	10.1	10.1	10.0	11.7	11.9	11.6				
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列(各年度3月時点、H30のみ最新月時点)	238,947	259,636	249,113	259,795	264,680	264,586	248,092	253,093	252,074				